

分別収集モデル事業実施結果について

1 概要

更なるごみの減量化と再資源化の推進及びごみ集積場所の環境美化につなげるため、「茨木市一般廃棄物処理基本計画」に基づく取り組みとして、新たに、古布・化粧品びんの分別収集及び粗大ごみの大型・小型に区分した収集をモデル地区で実施し、効果の検証を行う。

2 実施内容

(1) 実施地区

- ・上泉町自治会（1563 人 591 世帯）
- ・モンセーヌ南茨木自治会（822 人 300 世帯）

(2) 実施期間

平成 25 年 5 月から 9 月

(3) 実施目的及び実施方法

①古布の分別収集

茨木市におけるごみの組成分析結果によると、布類は 6.04%（平成 22 年度実績湿ベース）を占めており、平成 22 年度の家庭系普通ごみの収集量が 45,068 t であることから、2,722 t（27.20 g/日・人 再資源化が困難なものを含む）の布類が廃棄物になったことが推測される。

このうち、再資源化が可能な布類を分別収集することによる減量効果を検証する。

収集日：古紙類の収集日（月 1 回）→市から対象世帯に透明袋を配布

②化粧品びんの分別収集

びん類の再資源化可能範囲が拡大したことをうけて、従来粗大ごみとして収集している化粧品びんを資源物として分別収集することによる減量効果を検証する。

収集日：資源物の収集日（月 2 回）→市から対象世帯へ透明袋を配布

③粗大ごみの大型・小型の区分での収集

粗大ごみの中に含まれる普通ごみや資源物が多くあることから、粗大ごみを大型・小型の区分で収集し、家庭系廃棄物の分別を徹底することで、粗大ごみの減量効果を検証するとともに、分別を啓発する場とする。

また、ごみ集積場所の環境美化を図る。

収集日：1 回目：小型ごみ（30cm 以上 1 m 未満）

2 回目：大型ごみ（1 m 以上の家具類・自転車など）

※ただし、幅・高さ・奥行のいずれかは 1 m 未満であること

※大型ごみはできるだけ分解して排出

3 効果検証の判断基準

①古布

- ・古布の資源化量の発生

②化粧品びん

- ・化粧品びんの資源化量の発生

③粗大ごみの大型・小型

- ・粗大ごみ排出量の低減
- ・粗大ごみに混入する普通ごみや資源物の分別の徹底。
- ・ごみ集積場所の環境美化。

4 考察

①古布

表1は上泉町、表2はモンセーヌ南茨木における古布の収集結果を示している。両モデル地区とも一定の資源化量が見込めた。

表1 上泉町における古布の収集結果

	人口	古布収集量(資源化量)	
		kg	g/日・人
5月	1,561	210	4.34
6月	1,564	140	2.98
7月	1,564	120	2.48
8月	1,570	90	1.85
9月	1,555	100	2.14
平均	1,563	132	2.76

表2 モンセーヌ南茨木における古布の収集結果

	人口	古布収集量(資源化量)	
		kg	g/日・人
5月	822	50	1.96
6月	822	60	2.43
7月	822	100	3.92
8月	822	150	5.89
9月	822	100	4.06
平均	822	92	3.66

※モンセーヌ南茨木の古布は集団回収量から把握

②化粧品びん

表3は上泉町、表4はモンセーヌ南茨木における化粧品びんの収集結果を示している。化粧品びんについても、一定の資源化量が見込めた。

表3 上泉町における化粧品びんの収集結果

	人口	化粧品びん収集量(資源化量)	
		kg	g/日・人
5月	1,561	1.9	0.04
6月	1,564	2.0	0.04
7月	1,564	2.0	0.04
8月	1,570	1.6	0.03
9月	1,555	4.5	0.10
平均	1,563	2.4	0.05

表4 モンセーヌ南茨木における化粧品びんの収集結果

	人口	化粧品びん収集量(資源化量)	
		kg	g/日・人
5月	822	9.0	0.35
6月	822	7.0	0.28
7月	822	11.0	0.43
8月	822	12.5	0.49
9月	822	5.5	0.22
平均	822	9.0	0.36

③粗大ごみの大型・小型の区分

両モデル地区における、粗大ごみの収集結果は表5のとおりとなった。

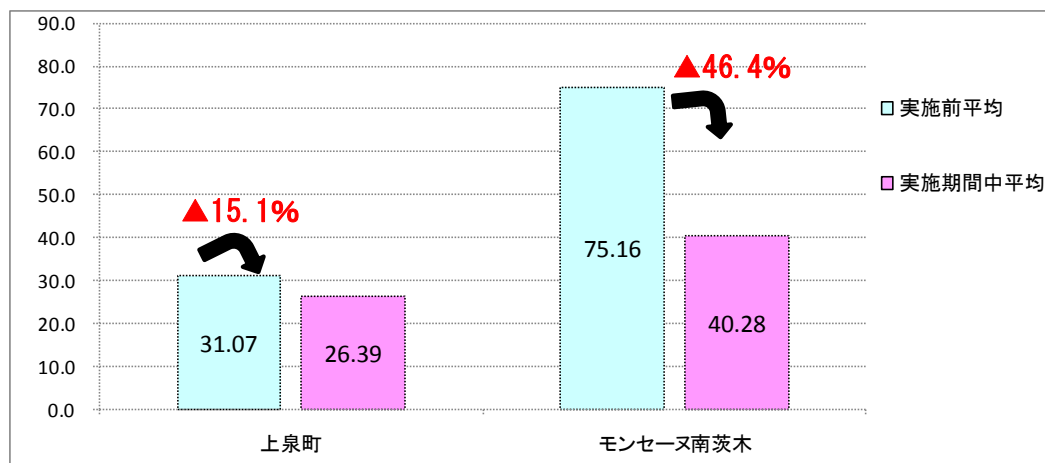
また、図6は、実施前(3月、4月)の粗大ごみの平均排出量と、実施期間中(5月～9月)の粗大ごみの平均排出量を比較したものである。

表5 上泉町及びモンセーヌ南茨木における粗大ごみ収集結果

	上泉町			モンセーヌ南茨木		
	小型	大型	粗大合計	小型	大型	粗大合計
3月	-	-	28.26	-	-	52.59
4月	-	-	33.89	-	-	97.73
実施前平均	-	-	31.07	-	-	75.16
5月	7.65	12.40	20.05	33.36	4.71	38.07
6月	14.71	17.48	32.18	36.50	7.70	44.20
7月	9.90	16.09	25.99	24.33	18.44	42.78
8月	9.25	11.92	21.16	18.05	14.91	32.96
9月	12.65	19.94	32.58	34.06	9.33	43.39
実施期間中平均	10.83	15.56	26.39	29.26	11.02	40.28
削減率	-	-	15.1%	-	-	46.4%

※削減率 = 1 - (実施期間中平均 ÷ 実施前平均)

図6 実施前と実施期間中の粗大ごみの平均排出量



実施前と実施期間中の平均を比較したところ、上泉町は 15.1%、モンセーヌ南茨木は 46.4%の減量となり、両モデル地区ともに、非常に大きな削減率を示す結果となった。

これは、粗大ごみの大型・小型の区分の設定が、家庭系廃棄物の分別区分を再認識する機会となり、粗大ごみへの普通ごみや資源物の混入が減少したからと考えられる。

また、分別収集モデル事業に関連して、住民の方から分別に関する質問をいただくことも多く、分別の啓発の場になったとも言える。

さらに、集積場所の状況について、図7に示す。

実施前は、左の写真のように、粗大ごみの集積場所に段ボールや普通ごみが排出されていたため、集積場所の環境美化が図りにくかった。

しかし、実施後は右の写真のように、粗大ごみだけが集積されているために、整理が容易になっている集積場所もあり、環境美化につなげることもできた。

図7 実施前後の粗大ごみの集積場所の状況

【実施前の集積場所の例】



【実施後の集積場所の例】



5 今後の予定

(1) 市民への周知

- ・自治会への回覧(2月)
- ・広報誌掲載(2月)
- ・ごみの出し方リーフレットの全戸配布(広報3月号と同配予定)
- ・減量推進員ニュースへの掲載(3月)
- ・ごみ集積場所設置看板の受付(2月以降随時)
- ・その他電子媒体(市ホームページ、コミュニティビジョン、フェイスブック、ツイッター等)による広報(2月以降随時)

(2) 本格実施時期

- ・古布及び化粧品びんの分別収集 平成26年4月から
- ・粗大ごみの大型・小型の分別収集 平成26年4月から
(ただし4月から6月は試行期間)